

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 7月

平成28年7月1日の推計人口 1,366,768人
世帯数 573,418世帯

参考：H22.10.1 現在国勢調査総人口：1,426,779人、
世帯数：558,660世帯

1 推計人口

平成28年7月1日現在の推計人口は、1,366,768人で、前月(1,367,645)に比べ877人の減少となった。

市部では大村市(147)、対馬市(22)、西海市(16)の3市で増加し、佐世保市(482)、長崎市(290)、雲仙市(51)、南島原市(38)、島原市(36)、諫早市(34)、平戸市(32)、五島市(29)、松浦市(19)、壱岐市(12)の10市で減少した。

郡部においては、長与町(9)の1町で増加し、波佐見町(13)、佐々町(13)、東彼杵町(9)、小値賀町(5)、新上五島町(4)、川棚町(3)、時津町(1)の7町で減少した。

自然動態は、出生数905人、死亡数1,220人で315人の減少、社会動態は、転入者数2,907人(県内転入を含む)、転出者数3,469人(県内転出を含む)で、562人の減少となった。

2 世帯数

平成28年7月1日現在の世帯数は、573,418世帯で前月(573,791)に比べ373世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H22国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

本月分の推計人口は平成27年10月1日現在の国勢調査人口等基本集計が公表されるまでの暫定値である。

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…5月

1人あたり現金給与総額 250,438円
対前月比 2.7%減少
対前年同月比 2.6%減少

1 賃金

5月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額250,438円で、前月に比べ2.7%減少し、前年同月に比べ2.6%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,353円で、前月に比べ2.1%減少し、前年同月に比べ0.7%減少した。

特別給与額は5,085円で、前年同月に比べ、5,253円減少した。

2 労働時間

5月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は153.5時間で、前月に比べ4.7%減少し、前年同月に比べ0.4%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.9時間で前月に比べ4.3%減少し、前年同月と比べ0.6%増加した。

所定外労働時間数は11.6時間で、前月に比べ10.1%減少し、前年同月に比べ11.4%減少した。

3 雇用

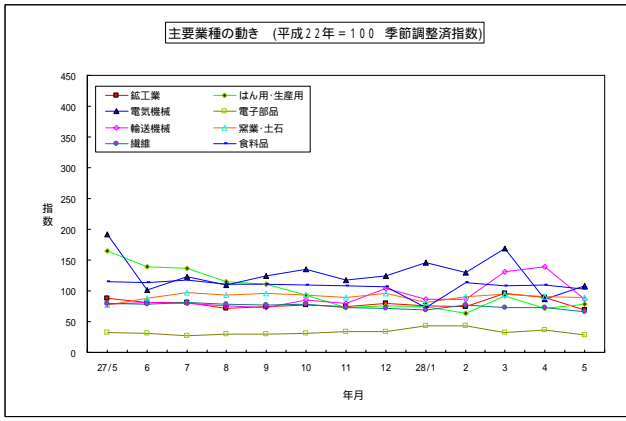
5月の常用労働者数は214,211人で、前月に比べ0.2%増加し、前年同月に比べ0.1%減少した。

【鉱工業生産指数】……………5月

平成28年5月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	69.4	22.1	69.4	19.5
九州	97.3	4.4	91.8	3.0
全国	94.7	2.6	89.4	0.4



平成28年5月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が69.4で前月比は22.1%の減、原指数は69.4で、対前年同月比は19.4%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、はん用・生産用機械工業など4業種が上昇し、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、繊維工業、食料品工業、窯業・土石製品工業など9業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	24.7	37.7	交流発電機
はん用・生産用機械工業	8.5	47.9	ボイラ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
輸送機械工業	37.5	9.9	修繕船
電子部品・デバイス工業	21.5	11.6	半導体集積回路
繊維工業	10.1	17.3	織物製外衣
食料品工業	6.3	9.4	水産練製品(すり身)
窯業・土石製品工業	2.3	7.9	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】..... 6月

総合指数(H22=100)	103.1
対前月比 (%)	0.1
対前年同月比 (%)	0.2

平成28年6月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成22年を100として、103.1である。

前月比は、0.1%の下落で、上昇要因は「家具・家事用品」の+3.0%、「交通・通信」の+0.4%であり、下落要因は、「光熱・水道」の0.9%、「教養娯楽」の0.6%である。

前年同月比は、平成28年3月は+0.2%、4月は0.1%、5月は0.4%と推移した後、6月は0.2%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.1であり、前月比は0.0%の同水準、前年同月比は0.1%の下落であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	3.0%
交通・通信	0.4%

下落した費目

食料	0.1%
光熱・水道	0.9%
被服及び履物	1.0%
保健医療	0.5%
教養娯楽	0.6%
諸雑費	0.3%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】..... 6月

消費支出(一世帯当たり)	251,335円
前月比	42,858円減(14.6%減)

平成28年6月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は251,335円で、前月比14.6%の減。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は51.9%であった。

主な支出内容	支出額(円)	前月比 (%)
食料	70,725	9.9
住居	15,564	18.6
光熱・水道	16,635	14.1
交通・通信	35,365	4.7
教養娯楽	17,152	6.8

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。